



2025年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社レゾナック・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4004 URL <https://www.resonac.com/jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 秀仁
問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 藤崎 一彦 <https://www.resonac.com/jp/inquiry>
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	986,263	△4.2	72,831	5.8	21,470	△74.9	7,093	△89.2	6,036	△90.7	△7,886	—
2024年12月期第3四半期	1,029,307	—	68,823	—	85,488	—	65,567	—	64,846	—	70,440	—

（参考）税引前四半期利益 2025年12月期第3四半期 20,205百万円（△74.1％） 2024年12月期第3四半期 77,902百万円（－％）

（注）コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	33.37	33.37
2024年12月期第3四半期	358.70	358.70

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,069,686	671,498	644,722	31.2
2024年12月期	2,172,626	692,006	664,616	30.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,422,000	2.2	98,000	6.4	49,000	△45.0	27,000	△63.9	26,000	△64.6	143.87

（参考）税引前当期利益 通期 38,000百万円（△55.1％）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 株式会社レゾナック・パッケージング

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期 3 Q	184,901,292株	2024年12月期	184,901,292株
2025年12月期 3 Q	3,917,929株	2024年12月期	4,176,378株
2025年12月期 3 Q	180,855,779株	2024年12月期 3 Q	180,782,785株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：有 (任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(作成の基礎)	9
(セグメント情報)	9
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

1) 当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間（2025年1月～9月）の世界経済は、米国の通商政策等による影響が懸念されるなか、全体としては緩やかに回復しました。半導体業界については比較的顕著な回復が見られました。国内経済は、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、全体として緩やかに回復しました。

当社グループは2024年12月期の通期決算より、従来の日本基準に替えて国際財務報告基準（IFRS）を適用しており、前第3四半期連結累計期間の数値もIFRSベースに組み替えて比較・分析を行っております。

当第3四半期連結累計期間における売上収益は、半導体・電子材料セグメントは販売数量増により増収となりましたが、その他の4セグメントは減収となり、総じて減収となる9,862億63百万円となりました。コア営業利益は、半導体・電子材料セグメントは増収に伴い増益となりました。その他の4セグメントは減益となりましたが、全体では増益となる728億31百万円となりました。営業利益は、旧本社土地建物の固定資産売却益があった前年同期に対し、Fiamm Energy Technology S.p.A.などの複数事業譲渡の意思決定に伴う減損損失の計上等により、減益となる214億70百万円となりました。営業利益の減益等により、親会社の所有者に帰属する四半期利益は60億36百万円となりました。

(単位：百万円)

	2024年 第3四半期累計 (1～9月)	2025年 第3四半期累計 (1～9月)	増減	増減率
売上収益	1,029,307	986,263	△43,044	△4.2%
コア営業利益	68,823	72,831	4,008	5.8%
営業利益	85,488	21,470	△64,018	△74.9%
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	64,846	6,036	△58,810	△90.7%

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（その他の収益、その他の費用及び減損損失（売上原価、販売費及び一般管理費に含まれます。））を除いて算出しております。

2) セグメント別概況（2025年1月～9月）

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」をご参照ください。

【半導体・電子材料セグメント】

当セグメントでは、半導体前工程材料は、NAND需要の回復ペースが緩やかななか、排ガス処理装置事業の事業譲渡の影響等で売上は若干の減収となりました。半導体後工程材料は、主にAI等の先端半導体向けの販売数量増加により増収となりました。デバイスソリューションは、HDメディアがデータセンター向け需要の回復により増収、SiCエピタキシャルウェハはEV市場の成長鈍化を受けて横ばいとなりました。

この結果、当セグメントは前年同期比で増収増益となりました。

(単位：百万円)

	2024年 第3四半期累計 (1～9月)	2025年 第3四半期累計 (1～9月)	増減	増減率
売上収益	328,485	365,672	37,187	11.3%
コア営業利益	52,834	73,986	21,152	40.0%

【モビリティセグメント】

当セグメントは、当1～3月期の二次電池外装材・食品包装材等の事業譲渡の影響や、一部国内顧客の需要減により、前年同期比で減収減益となりました。

(単位：百万円)

	2024年 第3四半期累計 (1～9月)	2025年 第3四半期累計 (1～9月)	増減	増減率
売上収益	149,738	132,105	△17,633	△11.8%
コア営業利益	3,920	2,032	△1,888	△48.2%

【イノベーション材料セグメント】

当セグメントは、一部製品の需要が自動車市場低迷の影響等で減少し、前年同期に比べ減収減益となりました。

(単位：百万円)

	2024年 第3四半期累計 (1～9月)	2025年 第3四半期累計 (1～9月)	増減	増減率
売上収益	71,563	67,936	△3,627	△5.1%
コア営業利益	8,840	8,091	△749	△8.5%

【ケミカルセグメント】

当セグメントでは、化学品は、炭酸ガスの数量増や一部製品の値上げにより増収増益となりました。グラファイトは、黒鉛電極の市況低迷の影響を受け販売数量、販売価格ともに下落し減収、前年同期には低価法戻り益を計上しましたが、当第3四半期では在庫の評価損影響があり、赤字拡大となりました。

この結果、当セグメントでは前年同期比で減収減益となりました。

(単位：百万円)

	2024年 第3四半期累計 (1～9月)	2025年 第3四半期累計 (1～9月)	増減	増減率
売上収益	150,803	125,893	△24,910	△16.5%
コア営業利益	1,787	△7,399	△9,186	—

【クラサケミカルセグメント】

当セグメントは、ナフサ価格下落に伴う販売価格下落により減収、在庫受払差の悪化によりコア営業利益が減益となりました。

(単位：百万円)

	2024年 第3四半期累計 (1～9月)	2025年 第3四半期累計 (1～9月)	増減	増減率
売上収益	242,482	222,777	△19,705	△8.1%
コア営業利益	5,113	3,326	△1,787	△35.0%

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,029億40百万円減少の2兆696億86百万円となりました。なお、売却目的で保有する資産の増加は売上債権、棚卸資産等からの振替によるものです。負債合計は主に有利子負債が減少したため、前連結会計年度末比824億32百万円減少の1兆3,981億88百万円となりました。資本合計は、その他の包括利益累計額に含まれる在外営業活動体の換算差額が円高の進行により減少し、前連結会計年度末比205億8百万円減少の6,714億98百万円となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
資産合計	2,172,626	2,069,686	△102,940
負債合計	1,480,620	1,398,188	△82,432
資本合計	692,006	671,498	△20,508

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本年2月13日発表の連結業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前当期利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
通期連結業績予想	1,422,000	98,000	49,000	38,000	27,000	26,000

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	294,656	216,266
売上債権	274,485	257,315
棚卸資産	220,812	204,171
未収法人所得税	3,674	5,113
その他の金融資産	28,735	31,018
その他の流動資産	36,184	31,097
小計	858,546	744,980
売却目的で保有する資産	28,002	67,308
流動資産合計	886,548	812,288
非流動資産		
有形固定資産	670,776	665,687
無形資産	442,417	413,306
退職給付に係る資産	38,514	38,871
繰延税金資産	17,867	15,398
持分法で会計処理されている投資	70,396	76,165
その他の金融資産	23,640	24,241
その他の非流動資産	22,468	23,730
非流動資産合計	1,286,078	1,257,398
資産合計	2,172,626	2,069,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
仕入債務	171,433	146,492
社債及び借入金	137,862	152,360
未払費用	38,157	41,319
未払法人所得税	8,344	20,028
リース負債	4,837	4,439
引当金	3,358	7,439
その他の金融負債	96,934	45,399
その他の流動負債	17,707	21,070
小計	478,632	438,546
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	16,541	28,364
流動負債合計	495,173	466,910
非流動負債		
社債及び借入金	858,399	811,040
退職給付に係る負債	10,300	8,060
引当金	5,970	3,915
リース負債	22,608	19,227
その他の金融負債	10,731	8,285
繰延税金負債	71,273	59,094
その他の非流動負債	6,166	21,657
非流動負債合計	985,447	931,278
負債合計	1,480,620	1,398,188
資本の部		
資本金	182,146	182,146
資本剰余金	108,863	108,580
自己株式	△13,172	△12,406
利益剰余金	318,643	312,823
その他の包括利益累計額	68,136	53,579
親会社の所有者に帰属する持分合計	664,616	644,722
非支配持分	27,390	26,776
資本合計	692,006	671,498
負債及び資本合計	2,172,626	2,069,686

（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
売上収益	1,029,307	986,263
売上原価	△785,997	△753,723
売上総利益	243,310	232,540
販売費及び一般管理費	△175,842	△199,143
その他の収益	33,312	14,875
その他の費用	△15,292	△26,802
営業利益	85,488	21,470
金融収益	2,037	3,256
金融費用	△14,793	△12,208
持分法による投資利益	5,170	7,687
税引前四半期利益	77,902	20,205
法人所得税費用	△12,335	△13,112
四半期利益	65,567	7,093
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	64,846	6,036
非支配持分	721	1,057
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	358.70	33.37
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	358.70	33.37

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期利益	65,567	7,093
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産の公正価値の純変動額	1,658	△1,273
確定給付制度の再測定	△114	△5
持分法によるその他の包括利益	△11	101
合計	1,533	△1,177
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,634	△13,147
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動額	△1,006	157
持分法によるその他の包括利益	△288	△812
合計	3,340	△13,802
その他の包括利益合計	4,873	△14,979
四半期包括利益	70,440	△7,886
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	68,998	△8,590
非支配持分	1,442	704

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(作成の基礎)

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、同基準第5条第5項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しており、国際会計基準第34号「期中財務報告」で求められる開示項目及び注記の一部を省略しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績評価のために定期的に検討を行う対象としているものであります。

当社は、主に事業部を基礎とした製品・商品別のセグメントから構成されており、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約し、「半導体・電子材料」、「モビリティ」、「イノベーション材料」、「ケミカル」、「クラサスケミカル」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要製品・商品は、下表のとおりであります。

報告セグメント	サブセグメント	主要製品・商品等
半導体・電子材料	半導体前工程材料	電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料（CMPスラリー）
	半導体後工程材料	エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト
	デバイスソリューション	HDメディア、SiCエピタキシャルウェハー
モビリティ	－	樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品、アルミ機能部材
イノベーション材料	－	樹脂材料
		機能性化学品（合成樹脂エマルジョン、不飽和ポリエステル樹脂）
		コーティング材料
		セラミックス（アルミナ、研削研磨材、ファインセラミックス）
ケミカル	化学品	基礎化学品（液化アンモニア、アクリロニトリル、アミノ酸、苛性ソーダ、塩素、合成ゴム）
		産業ガス（液化炭酸ガス、ドライアイス、酸素、窒素、水素）
	グラファイト	黒鉛電極、カーボン負極材
クラサスケミカル （石油化学事業）	－	オレフィン
		有機化学品（酢酸ビニルモノマー、酢酸エチル、アリルアルコール）
		合成樹脂

(報告セグメントの変更等に関する事項)

2025年1月1日付で、(株)レゾナックの完全子会社であるクラサスケミカル(株)に当社及び(株)レゾナックから石油化学事業の吸収分割を行うグループ組織再編を行ったことに伴い、従来は「半導体・電子材料」、「モビリティ」、「イノベーション材料」及び「ケミカル」の4つの報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「半導体・電子材料」、「モビリティ」、「イノベーション材料」、「ケミカル」及び「クラサスケミカル」の5つの報告セグメントに変更しております。

また、2025年1月1日付の組織変更に伴い、カーボン負極材を主要製品とする蓄電摺動材料事業について、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「モビリティ」から「ケミカル」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益の金額の算定方法

事業セグメントの会計処理方法は、要約四半期連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの損益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出したコア営業利益で表示しております。なお、非経常的な要因により発生した損益とは、その他の収益、その他の費用及び減損損失（売上原価、販売費及び一般管理費に含まれます。）であります。

セグメント間の売上収益は概ね市場実勢価格に基づいております。

(3) 報告セグメントの売上収益及び損益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

項目	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計
	半導体・ 電子材料	モビリティ	イノベー ション材料	ケミカル	クラス ケミカル	計			
売上収益									
外部顧客への売上収益	328,485	149,738	71,563	150,803	242,482	943,071	86,236	—	1,029,307
セグメント間の売上収益	3,930	581	9,857	9,449	1,442	25,259	5,238	△30,497	—
合計	332,415	150,319	81,420	160,252	243,924	968,330	91,474	△30,497	1,029,307
セグメント損益 (コア営業利益)	52,834	3,920	8,840	1,787	5,113	72,494	△433	△3,238	68,823

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサイエンス関連事業等を含んでおります。

- 2 セグメント損益の調整額△3,238百万円には、セグメント間取引消去377百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,615百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通研究開発費等であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

項目	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計
	半導体・ 電子材料	モビリティ	イノベー ション材料	ケミカル	クラス ケミカル	計			
売上収益									
外部顧客への売上収益	365,672	132,105	67,936	125,893	222,777	914,383	71,880	—	986,263
セグメント間の売上収益	3,576	675	9,287	8,081	2,805	24,424	5,173	△29,597	—
合計	369,248	132,780	77,223	133,974	225,582	938,807	77,053	△29,597	986,263
セグメント損益 (コア営業利益)	73,986	2,032	8,091	△7,399	3,326	80,036	2,674	△9,879	72,831

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない製造・販売等の事業を含んでおります。

- 2 セグメント損益の調整額△9,879百万円には、セグメント間取引消去101百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△9,980百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通研究開発費等であります。

セグメント損益から税引前四半期利益への調整は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
セグメント損益 (コア営業利益)	68,823	72,831
減損損失	△1,355	△39,434
その他の収益	33,312	14,875
その他の費用	△15,292	△26,802
営業利益	85,488	21,470
金融収益	2,037	3,256
金融費用	△14,793	△12,208
持分法による投資利益	5,170	7,687
税引前四半期利益	77,902	20,205

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費及び償却費	73,249	71,040

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年11月13日

株式会社レゾナック・ホールディングス

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 武 久 善 栄
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 岩 宮 晋 伍
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 中 島 悠 史
業務執行社員

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社レゾナック・ホールディングスの2025年1月1日から2025年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2025年7月1日から2025年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2025年1月1日から2025年9月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表、すなわち、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の要約四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「要約四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定（社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。）に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

要約四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない要約四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

要約四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき要約四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に定める記載の省略が適用されている。）に基づき、継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

要約四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、要約四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において要約四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する要約四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、要約四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・要約四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・要約四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、要約四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。

2. XBRL データ及び HTML データは期中レビューの対象には含まれていません。

2025年12月期 第3四半期決算要約 (IFRS)

当期よりIFRSを適用、及びセグメント区分を変更しております。2024年12月期に遡って修正しております。

1. 当第3四半期の業績 (1月～9月累計)

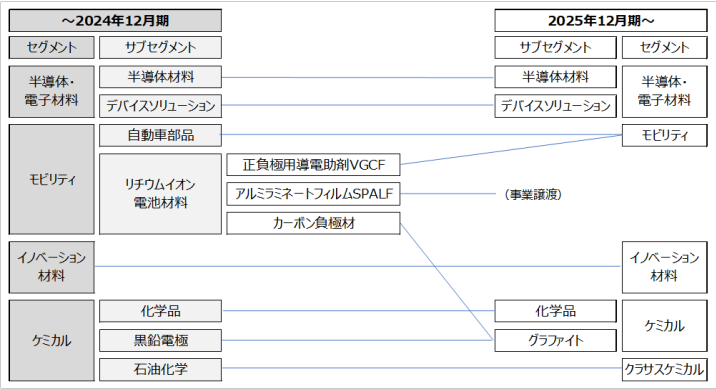
① 業績概要 (単位:億円)

項 目	2024年 第3四半期累計 (1月～9月)	2025年 第3四半期累計 (1月～9月)	増減
売 上 収 益	10,293	9,863	△430
コ ア 営 業 利 益	688	728	40
営 業 利 益	855	215	△640
税 引 前 四 半 期 利 益	779	202	△577
四 半 期 利 益	656	71	△585
親会社の所有者に帰属する四半期利益	648	60	△588

② セグメント別 売上収益・コア営業利益 (単位:億円)

セグメント		2024年 第3四半期累計 (1月～9月)	2025年 第3四半期累計 (1月～9月)	増減
半 導 体 ・ 電 子 材 料	売上収益	3,285	3,657	372
	コア営業利益	528	740	212
モ ビ リ テ イ	売上収益	1,497	1,321	△ 176
	コア営業利益	39	20	△ 19
イノベーション材料	売上収益	716	679	△ 36
	コア営業利益	88	81	△ 7
ケ ミ カ ル	売上収益	1,508	1,259	△ 249
	コア営業利益	18	△ 74	△ 92
クラサケミカル	売上収益	2,425	2,228	△ 197
	コア営業利益	51	33	△ 18
そ の 他 ・ 調 整 額	売上収益	862	719	△ 144
	コア営業利益	△ 37	△ 72	△ 35
計	売上収益	10,293	9,863	△ 430
	コア営業利益	688	728	40

セグメント区分変更



③ セグメント別 売上収益・コア営業利益 四半期推移 (単位:億円)

セグメント		2025年	2025年	2025年
		第1四半期 (1月～3月)	第2四半期 (4月～6月)	第3四半期 (7月～9月)
半 導 体 ・ 電 子 材 料	売上収益	1,112	1,195	1,350
	コア営業利益	196	229	315
モ ビ リ テ イ	売上収益	469	428	424
	コア営業利益	11	2	7
イノベーション材料	売上収益	220	229	230
	コア営業利益	21	28	31
ケ ミ カ ル	売上収益	377	407	475
	コア営業利益	△ 63	△ 19	8
クラサケミカル	売上収益	787	712	729
	コア営業利益	8	△ 16	41
そ の 他 ・ 調 整 額	売上収益	247	238	234
	コア営業利益	△ 25	△ 26	△ 20
計	売上収益	3,211	3,209	3,442
	コア営業利益	148	198	382

2. 参考数値

項 目	2024年 第3四半期累計 (1月～9月)	2025年 第3四半期累計 (1月～9月)	増減
為替レート(円/US\$)	151.3	148.2	3.1円高
国産ナフサ価格(円/KL)	76,150	67,650	△8,500

(単位:億円)

項 目	2024年12月末	2025年9月末	増減
総 資 産	21,726	20,697	△1,029
有利子負債残高	10,237	9,871	△366

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、世界的な政治情勢、経済情勢、規制の強化、製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。